

「産業保健活動にナッジ理論をどう活用するか」

日頃の保健指導や健康教育でなかなかうまくいかないと悩んでいませんか。健康無関心層の意識・行動改善において、ナッジ理論の活用が期待されています。産業保健師は日々、従業員のヘルスリテラシーの獲得・向上、職場の健康づくりのための支援活動を行っていますが、より効果的な産業保健活動に向けて、ナッジ理論をどのように活用したらよいのでしょうか。本研修会では、行動経済学に基づくナッジ理論の基本的な考え方や実際の活用方法について学んでいきます。講師には、帝京大学大学院公衆衛生研究科の福田先生をお招きしました。これからの活動に役立てていきましょう。



「講演」の後には、私たち産業保健師がどう取り組むのか、実践力向上につなげるための「討議」の時間を用意しています！

講師：福田 吉治 氏

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授

— 産業保健師活動のあり方の本質に迫る —

産業保健活動に

ナッジ理論をどう活用するか

日時

2020年5月23日（土） 15:00-17:00（受付14:30～）

13時30分～総会あり

会場

東京工科大学 蒲田キャンパス12号館2階 M219

参加費

日本産業保健師会会員：2,000円 非会員：5,000円(当日入会可能)

対象

産業保健分野で活動する産業保健師

定員

100名 先着順

申込〆切

2020年5月15日

日本産業保健師会

検索

申込 問い合わせ先:

日本産業保健師会 事務局代行（株式会社 創新社）〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル8階
Tel.03-5521-2881 / Fax.03-5521-2883 E-mail: office@sangyohokensi.net URL: http://sangyohokensi.net



働く人の健康を支援する
一般社団法人

日本産業保健師会

The Japanese Association of Public Health Nurses for Occupational Health